



2. 経費支出概要書（経費内訳）  
（1）経営相談支援事業

岬町商工会  
（単位：円）

区 分	変更前			変更後			差額	
	事業所数/回数	算定基準	補助金額	事業所数/回数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
事業所カルテ・サービス提案	153	3,825,000		205	5,125,000		1,300,000	
支援機関等へのつなぎ	5	50,000		10	100,000		50,000	
金融支援（紹介型）	8	240,000		10	300,000		60,000	
金融支援（経営指導型）	19	760,000		25	1,000,000		240,000	
マル経融資等の返済条件緩和支援	5	100,000		10	200,000		100,000	
資金繰り計画作成支援	5	100,000		7	140,000		40,000	
記帳支援	21	525,000		59	1,475,000		950,000	
労務支援	28	560,000		51	1,020,000		460,000	
人材育成計画作成支援	2	40,000		2	40,000		0	
マーケティング力向上支援	2	40,000		2	40,000		0	
販路開拓支援	18	360,000		20	400,000		40,000	
事業計画作成支援	5	250,000		10	500,000		250,000	
創業支援	5	100,000		7	140,000		40,000	
事業継続計画(BCP)作成支援	5	100,000		5	100,000		0	
コスト削減計画作成支援	5	100,000		5	100,000		0	
財務分析支援	10	100,000		26	260,000		160,000	
5S支援	2	20,000		2	20,000		0	
IT化支援	5	100,000		5	100,000		0	
債権保全計画作成支援	2	20,000		2	20,000		0	
事業承継支援	2	40,000		3	60,000		20,000	
災害時対応支援	0	0		0	0		0	
フォローアップ支援	40	200,000		41	205,000		5,000	
結果報告	153	1,530,000		205	2,050,000		520,000	
小 計	—	9,160,000	9,160,000	—	13,395,000	13,393,182	4,235,000	4,233,182

（2）専門相談支援事業

事業名	変更前			変更後			差額	
	支援日数	算定基準	補助金額	支援日数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
税務相談	3	72,000		3	72,000		0	
法律相談	3	72,000		3	72,000		0	
労務相談	2	48,000		2	48,000		0	
	0	0		0	0		0	
	0	0		0	0		0	
小 計	—	192,000	192,000	—	192,000	192,000	0	0

※支援日数×24,000円。ただし、記帳支援のために税理士を活用する場合、事業所数×26,000円

（3）地域活性化事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	8,609,510	別紙事業調書【変更後】のとおり	4,376,328		▲ 4,233,182

（4）商工会等支援事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	841,250	別紙事業調書【変更後】のとおり	841,250		0

（5）合計

	変更前		変更後		差額	
		補助金額		補助金額		補助金額
申請合計		18,802,760		18,802,760		0

事業名		おおさか湾もん産業フェア		事業番号		I		新規/継続		継続	
想定する実施期間		24 年度～ 年度まで		10 年目		←複数年段階的実施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること					
事業の概要	事業概要	「深日漁港ふれあい広場」において、岬町・阪南市・泉南市・熊取町・忠岡町5商工会による広域連携事業として、泉南地域の特産品等の販売および参加事業所のPRのために実施する。									
	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>岬町・阪南市・泉南市・熊取町および忠岡町は、様々な伝統工芸品・特産物・寺社仏閣・史跡等の地域資源・観光資源を有していますが、現状は手つかずのまま放置された地域資源・観光資源が大部分です。</p> <p>また、利用されていても付加価値をつけられず地域資源・観光資源として有効活用されないまま、従来どおりの使用・販売方法が継続されているために低価格での販売・買い叩きで売上が減少する事業者が多いため後継者がなかなか育っていないというのが泉南地域の現状です。</p> <p>平成29年4月には岬町淡輪から和歌山市大谷間の第二阪和国道（国道26号線）が延伸されて全面開通し、長年に渡り年末年始・ゴールデンウィーク・夏休み・春休み・秋の行楽シーズンに大渋滞を起こしていた旧国道の交通網が整備がされ交通渋滞は大幅に緩和されました。しかし、その反面第二阪和国道（国道26号線）の阪南市・岬町から和歌山市間のほとんどが山間部を通り岬町・阪南市等の市街地は迂回され、旧国道26号線の車両通行量は激減し売上が減っている小売業・飲食業・サービス業等の店舗等が少なくありません。</p> <p>よって、泉南地域においては、今後より一層の事業所および上記の地域資源・観光資源を活用して、泉南地域以外の消費者にPRしていくためにそのPR力の改善が求められています。</p> <p>そして、上記の5商工会管内には、零細・小規模な農・漁業者及び農・水産加工業者が多く存在していますが、販売先が従来の漁業協同組合等の組合関係を通じて収穫物を市場へ流通させるのみであるため、事業者の希望する販売価格で取引できずに市場が決定する価格に甘んじています。</p> <p>これらの事業者に対しても取引条件の良い別の販売先を開拓し販路拡大の機会を設け、連携5商工会地域管内の産業全般の活性化及び「特産品および事業者名」等の知名度向上のため、大阪府内及び府外へ地域独自の資源の存在を発信し、農水産事業者と製造業・サービス業・小売業者が交流を深めて連携を図ることにより、個々の取り扱う商品の評価を高め「おおさか湾もん」というブランドを確立し、さらに、個々の企業にも「諦めずに挑戦し続ける」というチャレンジ精神も与え地域特産品等販売の拠点づくりの形成に寄与することを目的としています。</p> <p>また、大阪府技能士会連合会と連携した「ものづくり教室」の開催により、企業の認知と製品・技術・サービスのPR及び消費者のニーズ収集並びに若者に「ものづくり体験」の機会を提供して、「ものづくり大阪」をPRするために本事業を実施します。</p> <p>尚、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための措置（3密を避けるための対策・検温・マスク着用・手のアルコール消毒等）も適切に実施し、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために最善の努力をします。</p>									
	支援する対象 (業種・事業所数等)	<p>連携する5商工会管内の事業所（岬町452、阪南市1, 506、泉南市2, 128、熊取町1, 239、忠岡町580）合計5, 905社（全業種の個人・法人企業）を対象とする。</p> <p>また、創業支援、農商工連携、地産地消等の資源活用のため、創業予定者、農林水産業者等も対象とする。</p>									
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	<p>1日の集客数が約9,000人、360万円弱の売上実績が継続されているこの産業フェアに対する参加企業の期待度は年々大きくなっています。</p> <p>5商工会管内にある事業所が商品・店舗等の効果的なPRを図りたいとのニーズはもちろんのこと、消費者のニーズをきめ細かく情報収集し、新製品（商品・サービス）開発のヒントを掴みたいというニーズもあります。</p> <p>これは、出店事業者よりのアンケート調査により把握したものです。</p>									
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<p>令和2年度は、令和2年10月25日（日）に開催を予定していたが、9月初旬まで何度も協議を重ねた結果、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために止むなく中止いたしました。</p> <p>令和元年度の実施内容は次のとおりです。</p> <p>実施日時：令和元年10月27日（日） 午前10時00分から午後2時30分まで</p> <p>実施場所：「ふれあい深日漁港」</p> <p>実施内容：物販・グルメブース、モノづくり教室ブース・展示ブースを設置し、ステージブースも集客を高めるために設置して本事業を実施した。</p> <p>支援企業数：岬町41社・阪南市10社・泉南7社・熊取町6社・忠岡町2社の合計66社</p> <p>また、府施策連携として出店したモノづくり教室ブース6ブースは、「大阪椅子張技能士会、大阪府置技能士会、大阪府印章技能士会、大阪府調理技能士会、大阪板ガラス技能士会、大阪内装仕上技能士会」が出店した。</p> <p>支援対象企業に訪れた商談件数：7,225名（7,225名÷66社＝平均109.5名）</p>									
	反省点	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しましたが、感染拡大防止のためにはやむを得ない判断であったと思いますが、規模を縮小して実施も考えたほうが良かったかなとも思います。</p> <p>また、令和元年度は人員不足で販売することがメインになってしまい、自社のPRがおろそかになってしまっている事業者が何件か見受けられたので、令和3年度は参加店募集時に各商工会の経営指導員が巡回等により、「どうすれば新規顧客獲得に繋がるか」を自社の商品とサービスに真摯に向き合って考え、「新規顧客獲得」に向けた新しい取組みを実行できるように改善してもらうよう啓発していく必要があります。</p>									

具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	人材育成型	「おおさか湾もん等産業フェア」として、 開催場所：岬町深日漁港ふれあい広場 開催日時：令和3年10月31日(日) 予定(今後、深日漁協と協議して決定する)						
	人材交流型	支援対象企業数：70社 で実施する。						
	○ 販路開拓型	「顧客満足度のアップ及び企業PRを第一」に事業所と消費者のコミュニケーションを図り、支援対象企業者の「新規顧客獲得」等に繋げるために本事業を実施する。会場への集客力強化を図るために好評の漁船クルーズも行う。事業内容の詳細は、深日漁協との協議および5商工会の担当者会議で決定する。						
	ハズオン型	開催までのスケジュールとして、 8月上旬 出店企業募集チラシ折込をする。 10月中旬 開催案内チラシ折込をする。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための措置(3密を避けるための対策・検温・マスク着用・手のアルコール消毒等)も適切に実施します。						
	独自提案型							
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	(a)府施策連携	(b)広域連携	(c)市町村連携	(d)相談事業相乗効果				
	労-5	産業祭・物産展・ものづくり教室		販路開拓				
	(a)府施策連携(府施策連携労-5番)として、 事前に人材育成課・産業人材育成グループと協議し、実施にあたっては産業人材育成グループ並びに大阪府技能士会連合会と事業内容や専門家・策定事例などに関する情報交換をおこない、実施日当日は大阪府技能士連合会との連携による「ものづくり教室」を開催して管内及び大阪府内の子ども・若者層等に対してものづくり体験の機会を提供する。 (b)広域連携として、 岬町・阪南市・泉南市・熊取町・忠岡町の5商工会の広域連携で実施し、幹事を岬町商工会が務め5商工会が出店企業及び来場者を募集する。担当者会議を開催し、本事業の趣旨と反省点の改善等を徹底する。 (c)市町村連携として、 岬町に後援を依頼する。岬町・阪南市・泉南市・熊取町・忠岡町の広報紙等で、本事業の周知を依頼する。岬町に本事業にかかる会場必要備品・人員の提供を依頼する。 (d)相談事業相乗効果として、 新規顧客獲得に向けた新たな取り組み(令和3年度は、自社の情報をインスタグラム等で発信する等の方法を中心に啓発)を可能な限り支援しカルテ化に繋げていく。							
主な事業の目標	総支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒	令和3年度の各支援企業数は、岬町44社・阪南市11社・泉南市8社・熊取町5社・忠岡町2社の合計70社とする。 対象企業は、5商工会管内の製造・小売・飲食サービス業者を中心に、さらに農林水産事業者にも拡げ、HP掲載・新聞折込チラシ・自治体広報紙・商工会報等において事業内容を周知のうえ、経営指導員等による巡回・窓口にて募集をおこなっていく。					
	支援対象企業の変化(代表的な指標)	指標	自社のPRができた、売上増加に繋がった、新規顧客獲得ができたという企業数	70社 × 80% =	56社	数値目標	56社	
	その他目標値	目標値の内容⇒	過年度実績により1企業に訪れるお客様数は100名なので、支援対象事業所に訪れた客数(商談件数)は、70社×100名=7,000名とする。					
算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒	サービス単価	支援企業数	係数	標準事業費			
		50,500 円 ×	70 社 ×	1.00 =	3,535,000 円			
		50,500 円 ×	7,000 社 ×	0.01 =	3,535,000 円			
		円 ×	社 ×	=	円			
		円 ×	社 ×	=	円			
		円 ×	社 ×	=	円			
		合計	7,070 社	(小計)	7,070,000 円			
		※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)						
				計	7,070,000 円			
独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)								

算出額	①市町村等補助		円		交付市町村等			
	②受益者負担		円		負担金の積算			
	○	(a)府施策連携	○	(b)広域連携	○	(c)市町村連携	○	(d)相談事業相乗効果
	標準事業費		補助率					(①市町村等+②受益者負担)
	3,535,000	円	×	1.00	=	3,535,000	円	( 円)
	3,535,000	円	×	0.75	=	2,651,250	円	( 円)
	合計					6,186,250	円	( 円)
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体 または「リンク」で説明する 代表団体に○)	代	商工会・会議所名		配分額		役割 (配分の考え方)		
	○	岬町商工会		4,233,182 円		幹事商工会 (岬町) の配分6,186,250円× 15% =927,937円		
		阪南市商工会		826,298 円		(6,186,250円-927,937円)÷70社= 75,118円 (1社当たりの単価)		
		泉南市商工会		600,944 円		岬町927,937円+75,118円×44社= 4,233,129円		
		熊取町商工会		375,590 円		+ 端数53円=4,233,182円		
		忠岡町商工会		150,236 円		阪南市 75,118円×11社=826,298円 泉南市 75,118円×8社=600,944円 熊取町 75,118円×5社=375,590円 忠岡町 75,118円×2社=150,236円		

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		おおさか湾もん産業フェア		事業番号		I		新規/継続		継続	
想定する実施期間		24 年度～ 年度まで		10 年目		←複数年段階的実施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること					
事業の概要	事業概要	「深日漁港ふれあい広場」において、岬町・阪南市・泉南市・熊取町・忠岡町5商工会による広域連携事業として、泉南地域の特産品等の販売および参加事業所のPRのために実施する。									
	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>岬町・阪南市・泉南市・熊取町および忠岡町は、様々な伝統工芸品・特産物・寺社仏閣・史跡等の地域資源・観光資源を有していますが、現状は手つかずのまま放置された地域資源・観光資源が大部分です。</p> <p>また、利用されていても付加価値をつけられず地域資源・観光資源として有効活用されないまま、従来どおりの使用・販売方法が継続されているために低価格での販売・買い叩きで売上が減少する事業者が多いため後継者がなかなか育っていないというのが泉南地域の現状です。</p> <p>平成29年4月には岬町淡輪から和歌山市大谷間の第二阪和国道(国道26号線)が延伸されて全面開通し、長年に渡り年末年始・ゴールデンウィーク・夏休み・春休み・秋の行楽シーズンに大渋滞を起こしていた旧国道の交通網が整備がされ交通渋滞は大幅に緩和されました。しかし、その反面第二阪和国道(国道26号線)の阪南市・岬町から和歌山市間のほとんどが山間部を通り岬町・阪南市等の市街地は迂回され、旧国道26号線の車両通行量は激減し売上が減っている小売業・飲食業・サービス業等の店舗等が少なくありません。</p> <p>よって、泉南地域においては、今後より一層の事業所および上記の地域資源・観光資源を活用して、泉南地域以外の消費者にPRしていくためにそのPR力の改善が求められています。</p> <p>そして、上記の5商工会管内には、零細・小規模な農・漁業者及び農・水産加工業者が多く存在していますが、販売先が従来の漁業協同組合等の組合関係を通じて収穫物を市場へ流通させるのみであるため、事業者の希望する販売価格で取引できずに市場が決定する価格に甘んじています。</p> <p>これらの事業者に対しても取引条件の良い別の販売先を開拓し販路拡大の機会を設け、連携5商工会地域管内の産業全般の活性化及び「特産品および事業者名」等の知名度向上のため、大阪府内及び府外へ地域独自の資源の存在を発信し、農水産事業者と製造業・サービス業・小売業者が交流を深めて連携を図ることにより、個々の取り扱う商品の評価を高め「おおさか湾もん」というブランドを確立し、さらに、個々の企業にも「諦めずに挑戦し続ける」というチャレンジ精神も与え地域特産品等販売の拠点づくりの形成に寄与することを目的としています。</p> <p>また、大阪府技能士会連合会と連携した「ものづくり教室」の開催により、企業の認知と製品・技術・サービスのPR及び消費者のニーズ収集並びに若者に「ものづくり体験」の機会を提供して、「ものづくり大阪」をPRするために本事業を実施します。</p> <p>尚、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための措置(3密を避けるための対策・検温・マスク着用・手のアルコール消毒等)も適切に実施し、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために最善の努力をします。</p>									
	支援する対象 (業種・事業所数等)	<p>連携する5商工会管内の事業所(岬町452、阪南市1,506、泉南市2,128、熊取町1,239、忠岡町580)合計5,905社(全業種の個人・法人企業)を対象とする。</p> <p>また、創業支援、農商工連携、地産地消等の資源活用のため、創業予定者、農林水産業者等も対象とする。</p>									
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	<p>1日の集客数が約9,000人、360万円弱の売上実績が継続されているこの産業フェアに対する参加企業の期待度は年々大きくなっています。</p> <p>5商工会管内にある事業所が商品・店舗等の効果的なPRを図りたいとのニーズはもちろんのこと、消費者のニーズをきめ細かく情報収集し、新製品(商品・サービス)開発のヒントを掴みたいというニーズもあります。</p> <p>これは、出店事業者よりのアンケート調査により把握したものです。</p>									
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<p>令和2年度は、令和2年10月25日(日)に開催を予定していたが、9月初旬まで何度も協議を重ねた結果、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために止むなく中止いたしました。</p> <p>令和元年度の実施内容は次のとおりです。</p> <p>実施日時：令和元年10月27日(日) 午前10時00分から午後2時30分まで</p> <p>実施場所：「ふれあい深日漁港」</p> <p>実施内容：物販・グルメブース、モノづくり教室ブース・展示ブースを設置し、ステージブースも集客を高めるために設置して本事業を実施した。</p> <p>支援企業数：岬町41社・阪南市10社・泉南7社・熊取町6社・忠岡町2社の合計66社</p> <p>また、府施策連携として出店したモノづくり教室ブース6ブースは、「大阪椅子張技能士会、大阪府置技能士会、大阪府印章技能士会、大阪府調理技能士会、大阪板ガラス技能士会、大阪内装仕上技能士会」が出店した。</p> <p>支援対象企業に訪れた商談件数：7,225名(7,225名÷66社=平均109.5名)</p>									
	反省点	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しましたが、感染拡大防止のためにはやむを得ない判断であったと思いますが、規模を縮小して実施も考えたほうが良かったかなとも思います。</p> <p>また、令和元年度は人員不足で販売することがメインになってしまい、自社のPRがおろそかになってしまっている事業者が何件か見受けられたので、令和3年度は参加店募集時に各商工会の経営指導員が巡回等により、「どうすれば新規顧客獲得に繋がるか」を自社の商品とサービスに真摯に向き合って考え、「新規顧客獲得」に向けた新しい取組みを実行できるように改善してもらうよう啓発していく必要があります。</p>									

具体的な実施内容・手法 (該当型に○) いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	人材育成型	「おおさか湾もん等産業フェア」として、 開催場所：岬町深日漁港ふれあい広場 開催日時：令和3年10月31日(日) 予定(今後、深日漁協と協議して決定する)									
	人材交流型	支援対象企業数：70社 で実施する。									
	○ 販路開拓型	「顧客満足度のアップ及び企業PRを第一」に事業所と消費者のコミュニケーションを図り、支援対象企業者の「新規顧客獲得」等に繋げるために本事業を実施する。会場への集客力強化を図るために好評の漁船クルーズも行う。事業内容の詳細は、深日漁協との協議および5商工会の担当者会議で決定する。									
	ハズオン型	開催までのスケジュールとして、 8月上旬 出店企業募集チラシ折込をする。 10月中旬 開催案内チラシ折込をする。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための措置(3密を避けるための対策・検温・マスク着用・手のアルコール消毒等)も適切に実施します。									
	独自提案型										
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	(a)府施策連携	(b)広域連携		(c)市町村連携		(d)相談事業相乗効果					
	労-5	産業祭・物産展・ものづくり教室			販路開拓						
	(a)府施策連携(府施策連携労-5番)として、 事前に人材育成課・産業人材育成グループと協議し、実施にあたっては産業人材育成グループ並びに大阪府技能士会連合会と事業内容や専門家・策定事例などに関する情報交換をおこない、実施日当日は大阪府技能士連合会との連携による「ものづくり教室」を開催して管内及び大阪府内の子ども・若者層等に対してものづくり体験の機会を提供する。 (b)広域連携として、 岬町・阪南市・泉南市・熊取町・忠岡町の5商工会の広域連携で実施し、幹事を岬町商工会が務め5商工会が出店企業及び来場者を募集する。担当者会議を開催し、本事業の趣旨と反省点の改善等を徹底する。 (c)市町村連携として、 岬町に後援を依頼する。岬町・阪南市・泉南市・熊取町・忠岡町の広報紙等で、本事業の周知を依頼する。岬町に本事業にかかる会場必要備品・人員の提供を依頼する。 (d)相談事業相乗効果として、 新規顧客獲得に向けた新たな取り組み(令和3年度は、自社の情報をインスタグラム等で発信する等の方法を中心に啓発)を可能な限り支援しカルテ化に繋げていく。  <b>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止。</b>										
主な事業の目標	総支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒	令和3年度の各支援企業数は、岬町44社・阪南市11社・泉南市8社・熊取町5社・忠岡町2社の合計70社とする。 対象企業は、5商工会管内の製造・小売・飲食サービス業者を中心に、さらに農林水産事業者にも拡げ、HP掲載・新聞折込チラシ・自治体広報紙・商工会報等において事業内容を周知のうえ、経営指導員等による巡回・窓口にて募集をおこなっていく。								
	支援対象企業の変化(代表的な指標)	指標	自社のPRができた、売上増加に繋がった、新規顧客獲得ができたという企業数 70社 × 80% = 56社			数値目標	56社				
	その他目標値	目標値の内容⇒	7,000名 過年度実績により1企業に訪れるお客様数は100名なので、支援対象事業所に訪れた客数(商談件数)は、70社×100名=7,000名とする。								
算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒	サービス単価		支援企業数		係数		標準事業費			
		50,500	円 ×	70	社 ×	1.00	=	3,535,000	円		
	50,500	円 ×	7,000	社 ×	0.01	=	3,535,000	円			
		円 ×		社 ×		=		円			
		円 ×		社 ×		=		円			
		円 ×		社 ×		=		円			
		合計		7,070	社	(小計)		7,070,000	円		
		※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)							円		
									計	7,070,000	円
独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)											

算出額	①市町村等補助		円		交付市町村等			
	②受益者負担		円		負担金の積算			
	<input type="radio"/>	(a)府施策連携	<input type="radio"/>	(b)広域連携	<input type="radio"/>	(c)市町村連携	<input type="radio"/>	(d)相談事業相乗効果
	標準事業費		補助率					(①市町村等+②受益者負担)
	3,535,000	円	×	1.00	=	3,535,000	円	( 円)
	3,535,000	円	×	0.75	=	2,651,250	円	( 円)
	合計					6,186,250	円	( 円)
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体 またはリンクで説明する 代表団体に○)	代	商工会・会議所名		配分額		役割 (配分の考え方)		
	<input type="radio"/>	岬町商工会		4,233,182 円		幹事商工会 (岬町) の配分6,186,250円×15% =927,937円		
		阪南市商工会		826,298 円		(6,186,250円-927,937円)÷70社= 75,118円 (1社当たりの単価)		
		泉南市商工会		600,944 円		岬町927,937円+75,118円×44社= 4,233,129円		
		熊取町商工会		375,590 円		+ 端数53円=4,233,182円		
		忠岡町商工会		150,236 円		阪南市 75,118円×11社=826,298円 泉南市 75,118円×8社=600,944円 熊取町 75,118円×5社=375,590円 忠岡町 75,118円×2社=150,236円		

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。